



サミック サームオイル 603・605

(鉍油系熱媒体油)

サミックサームオイルは、船舶および工業用途で使用される密閉系および開放系の間接加熱・冷却システム用の高性能熱媒体油です。

耐熱性（熱分解に対する抵抗性）と耐酸化性を有する高品質基油をベースとしており、低温起動時または高温での稼働時でもポンプによる送入が容易な動粘度、および優れた熱伝達効率を有しています。

1. 製品の特長

- ・ 熱分解に対する抵抗性に優れており、稼働中のスラッジや炭化物等の堆積物の生成、粘度の上昇、引火点や熱伝導率の著しい低下を抑制します。
- ・ 優れた熱安定性と酸化安定性を有し、堆積物の生成・粘度上昇といった問題を生じることなく長期間にわたる運転が可能です。
- ・ 熱伝導性に優れているため、稼働効率の向上により稼働コストが削減されます。
- ・ 粘度特性に優れ、低温起動時や高温での円滑な稼働が可能です。

2. 使用上の注意

- ・ 他のオイルとの混合使用はしないで下さい。本製品の優れた熱安定性および酸化安定性が低下したり、その他特性が変化したりする原因となります。
- ・ システムが推奨する最高温度を超えて使用しないで下さい。ベーパーロックや、熱劣化による油の寿命低下を起こします。
- ・ 本製品は強制循環システムにのみ使用できます。流速が熱媒体油の循環に影響するシステムの場合、流速不足による局所過熱やオイルの急激な劣化を起こす場合があります。
- ・ 適切なシステム設計においては、ヒーターの周辺の油膜温度がタンク油温を約 15℃～30℃ほど上回るようになっていますが、この温度（タンク油温プラス 15℃～30℃）以上に上昇すると、オイル寿命が低下し、スラッジや炭化物などの堆積物が生成され、熱伝導率が低下する可能性があります。
- ・ 熱媒体油が直接大気に触れるような開放系における使用は推奨されません。非常に高温に加熱された熱媒体油が漏洩箇所から漏れたり、噴出したりすると自然発火の可能性があります。

3. 代表性状 および 温度範囲

サミックサームオイル		603	605
密度 (@15°C)	g/cm ³	0.865	0.870
色	ASTM	L0.5	L1.0
引火点	°C	200	226
動粘度	(@40°C) mm ² /s	20.8	30.2
	(@100°C) mm ² /s	4.20	5.21
粘度指数		103	102
流動点	°C	-15.0	-12.5
タンク油温の 温度範囲 ※1	密閉系 (°C)	-7~280°C	-7~310
	開放系 (°C)	-7~150°C	-7~180

※1 タンク油温が温度範囲内の工業プロセス用開放系および密閉系間接加熱・冷却システムに使用できます。

消防法分類

サミック サームオイル 603 危険物第4類 第4石油類

サミック サームオイル 605 危険物第4類 第4石油類

使用上の安全に関する注意事項 (別途 MSDS による情報も併せてご参照ください)

注意 取扱い上の 注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ●目に入ると炎症を起こすことがあります。取り扱う際は保護眼鏡を使用するなど目に入らないようにしてください。 ●皮膚に触れると炎症を起こすことがあります。取り扱う際は保護手袋を使用するなど皮膚に触れないようにしてください。 ●ミストを吸入すると気分が悪くなる場合があります。取り扱う際は呼吸器具を使用するなどミストを吸入しないでください。 ●飲まないでください。(飲むと下痢、嘔吐します。) ●子供の手の届かない所に保管してください。
応急処置	<ul style="list-style-type: none"> ●目に入った場合は、清浄な水で15分間洗浄し、医師の診断を受けてください。 ●皮膚に触れた場合は、水と石鹸で十分に洗ってください。 ●ミストを吸入した場合は、新鮮な空気のある場所に移し、身体を毛布などで覆い、保温して安静を保ち、医師の診断を受けてください。 ●飲み込んだ場合は、無理に吐かせずに、直ちに医師の診断を受けてください。
廃油・廃容器 の処置	<p>処理方法は法律で義務づけられています。法令に従い適正に処理してください。 不明な場合は購入先にご相談の上処理してください。</p>
保管方法	<p>ゴミ、水分などの混入防止のため使用後は密栓してください。 直射日光を避け、暗所に保管してください。</p>

問い合わせ先 : 三和化成工業株式会社
〒236-0002
神奈川県横浜市金沢区鳥浜町 12-9
FAX : 045-778-2303
TEL : 045-778-2331